

design

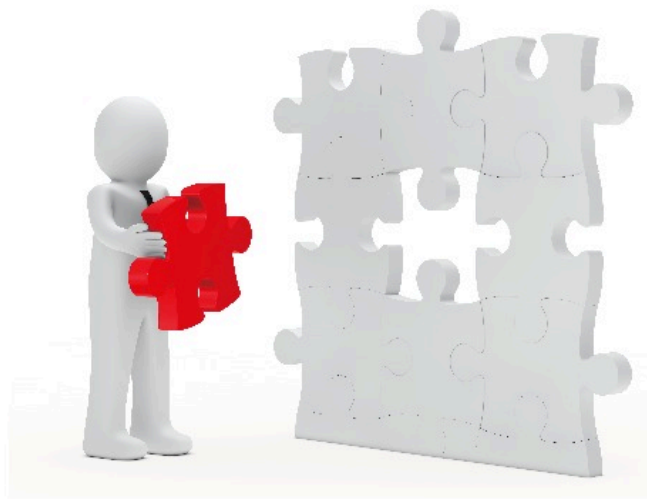
LESSON.1

レイアウトの基本原則

#selfmedia

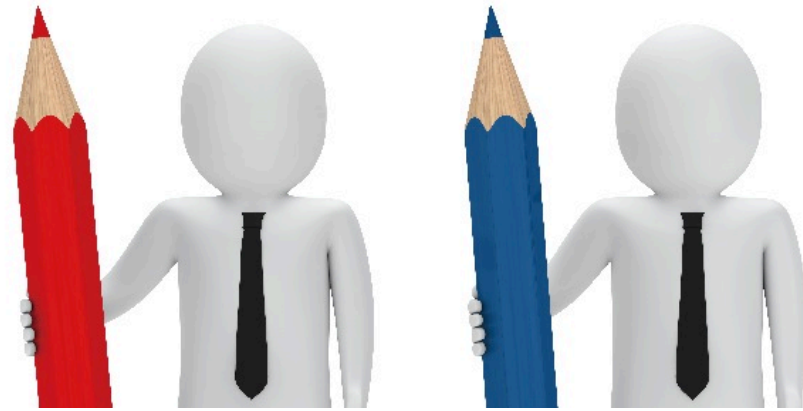
そもそもレイアウトとは何か？

レイアウトとは空間に何かを配置する作業を指すもので、都市設計や建物、インテリアなどから、雑誌・ポスター・ホームページの作成などにいたるまで、幅広い意味を持っています。空間に何かを配置するという行為は、それだけで何らかの意味を持たせることになります。では人に何かを伝える為のレイアウトとは一体何なのか？



レイアウトはデザインの下書き

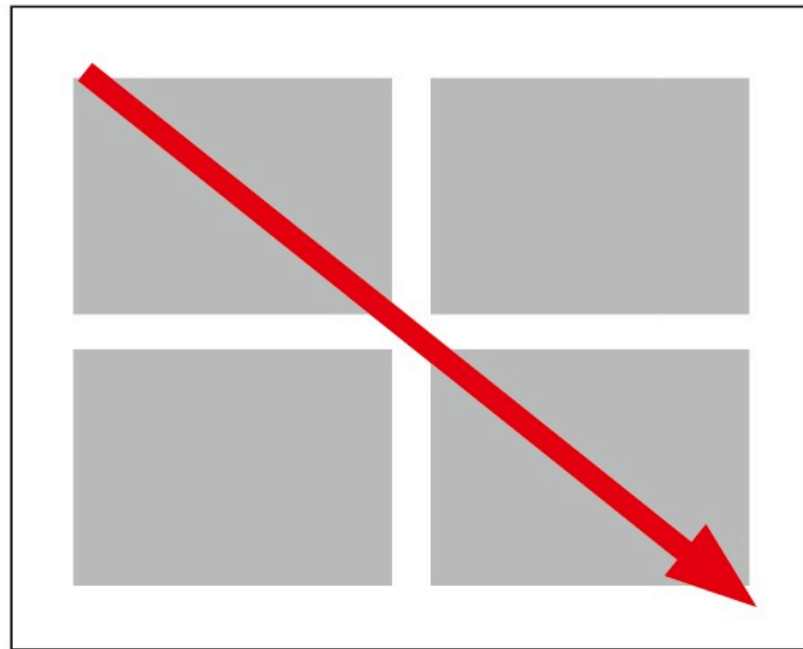
何らかの媒体(チラシ・ポスター・ホームページ・バナーなど…)で人に何かを伝える際、よくあるのがやみくもに情報を入れたり、伝えたいことがたくさんありすぎて情報がバラバラで何が言いたいかわからない媒体も多くあります。それだと読み手が退屈するどころか混乱する場合があります。そこで今回は人の視覚がどう動いて、どのように誘導され、それをふまえた効果的なレイアウトとはどんなものがあるのかを紹介していきます。



代表的なレイアウトに対する視線誘導

ゲーテンベルク・ダイヤグラム

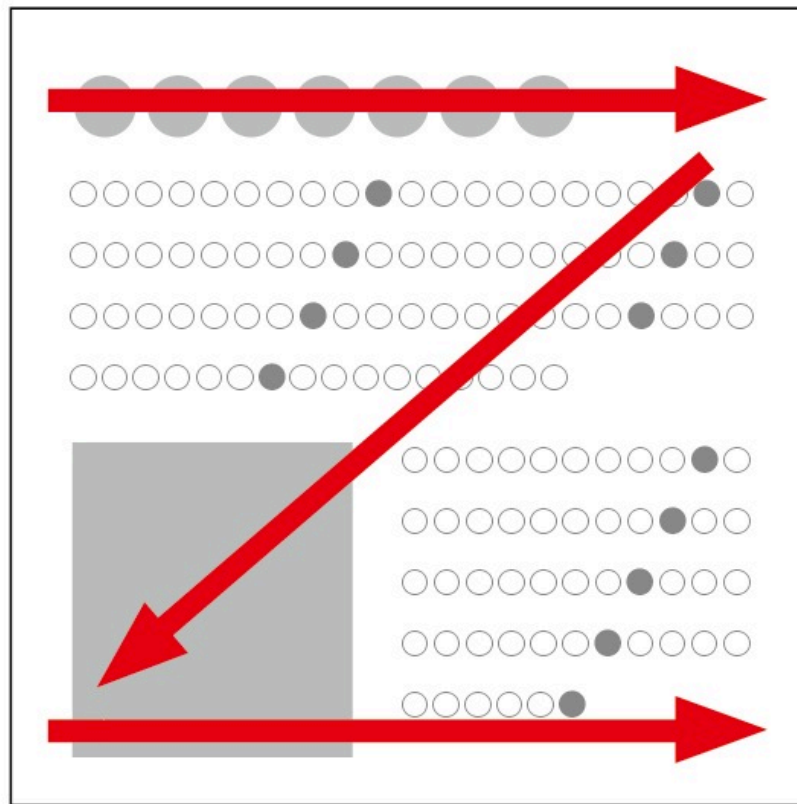
名称は非常に言いにくいですが、「ゲーテンベルク・ダイヤグラム」とは、均等に配置された同質の情報を見る際の、一般的な視線の流れのパターンを表した図式のことです。簡単に言うと基本的な「人の視線の流れのパターン」です。



代表的なレイアウトに対する視線誘導

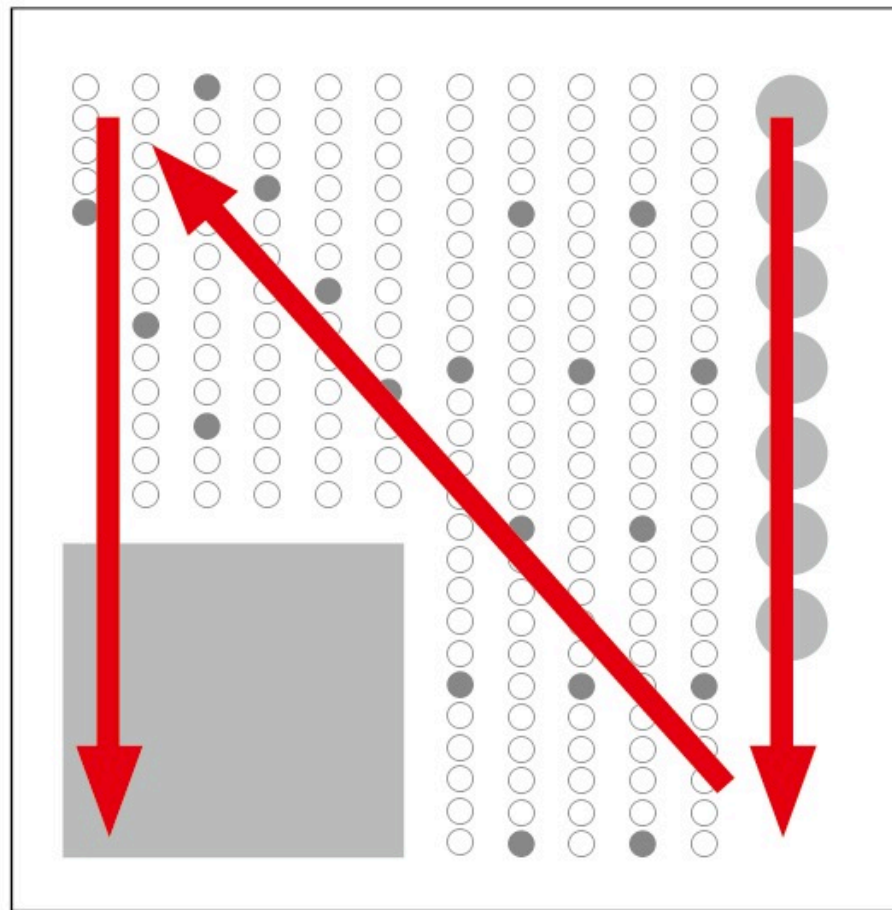
CASE.1 Zパターン型

視線が左上から右へ流れ、その後左下から右へ流れる形がアルファベットのZに似ているためこう呼ばれています。このZパターン型は雑誌やチラシ(横書き)の紙面などで良く使われているパターンです。



縦書きVer.

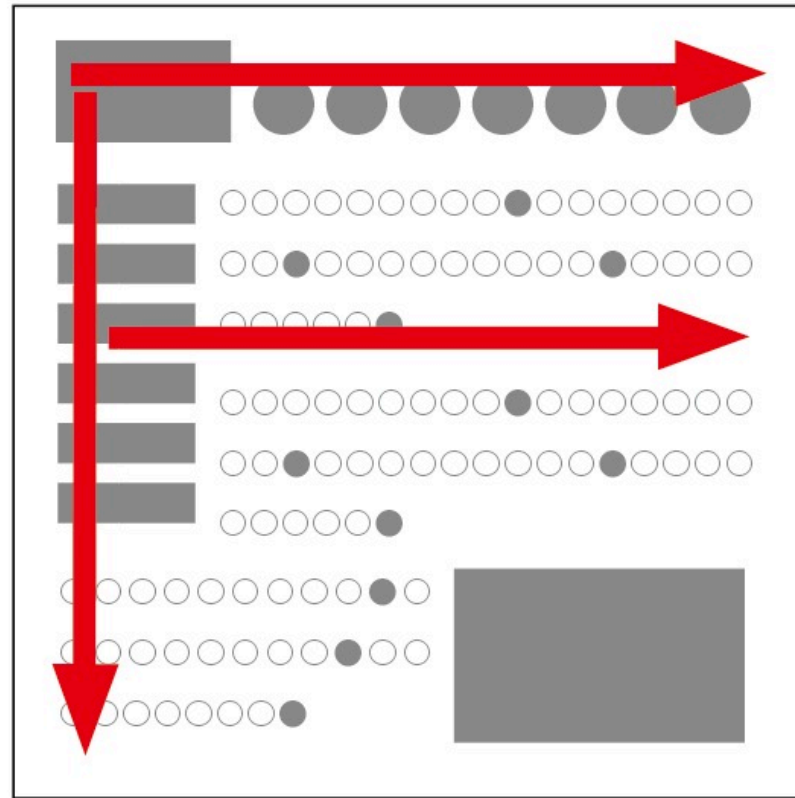
縦書きの代表的な構造になります。
このように右上から下に来て左上
に行って左下へと降りて行く縦書
き構造は新聞や小説、教科書など
で用いられています。ちなみにこ
れらに縦書きがいまだに多いのは、
日本の伝統や習慣・風習は敢えて
変えないという日本人の拘りの一
つとも言われています。



代表的なレイアウトに対する視線誘導

CASE.1 Fパターン型

こちらは web のホームページやサイトなどで良く使われている構造です。まずはロゴ部分からヘッダーが目に入り、続いて見出し・メニュー、記事、と読み進めていくような誘導です。ちなみに yahoo や楽天ショッピングサイトなどにも使われています。



HPでは良く使われている

この構図は主にHPのトップページやカテゴリページなどをデザインする際にこれらを活用し、ユーザーの求めるコンテンツへの動線を配置するレイアウトです。

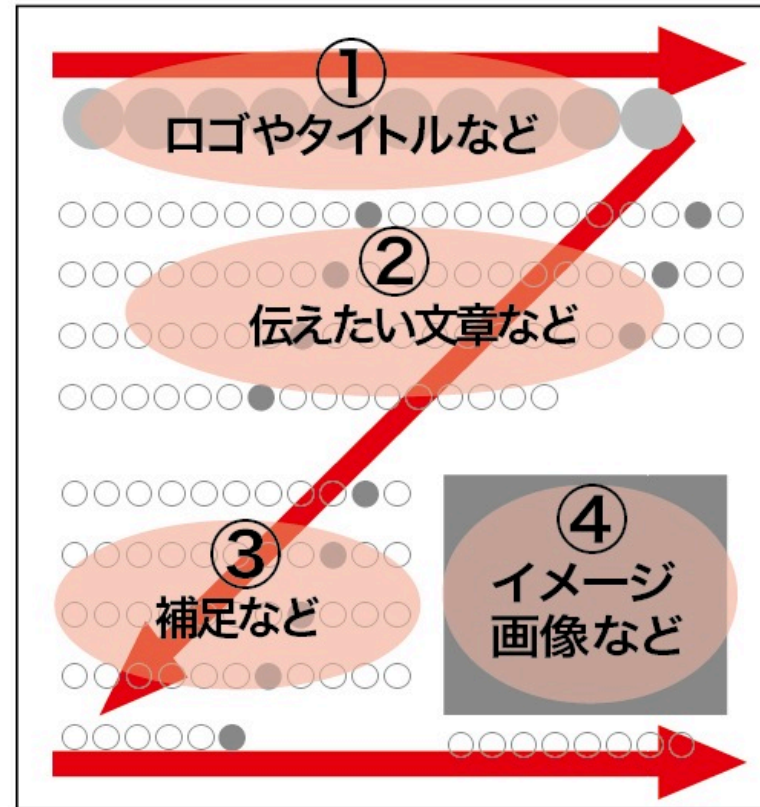


特に情報量が多いサイトでは、サイドメニューバーなどが配置され、どのような情報があるか、求めている情報があるかざっと見やすくするためです。

代表的なレイアウトに対する視線誘導

視線誘導にならって、優先順位をつけてレイアウト

前のページのように、左上から右下へ視線誘導されるのを利用して、左上、上部には一番目立たせたい、または伝えたい情報を載せる。その次に重要な情報は真ん中あたり、一番優先順位が低い情報は一番下に配置されることが多いです。



※優先順位はあくまで仮です。その人によって何を一番伝えたいかが違うので

補足

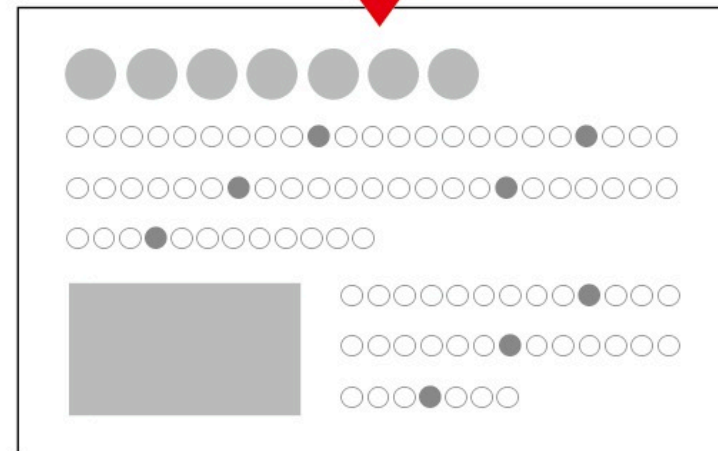
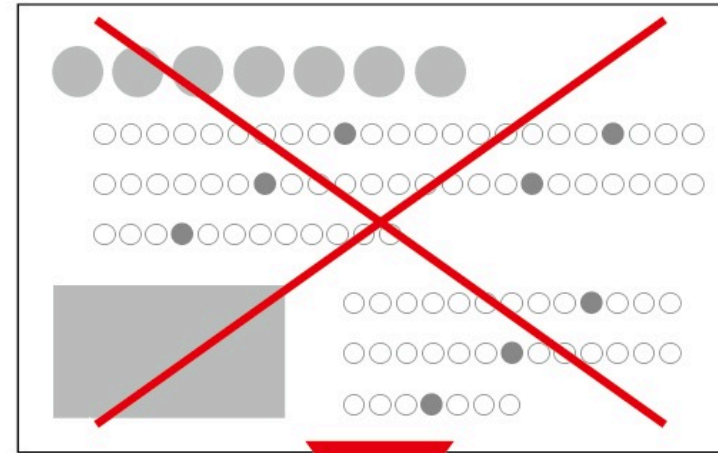
レイアウトはお客さんをいかに**スムーズに誘導**してあげるかが大切

ひとつの媒体をお店に置き換えたとき、どこになにが置いてあるか、欲しい物がどこにあるか分からなくなりストレスを感じることもあると思います。それはデザインにも同じ事が言え、**いかにスムーズにお客さんが求めている情報を提供**することが親切であり、見やすい = お気に入りの媒体になる可能性も高くなります。なので媒体を見たお客さんの気持ちになって制作することが重要になってきます。

レイアウトの基本『3ヶ条』

その1. 揃える所は揃える

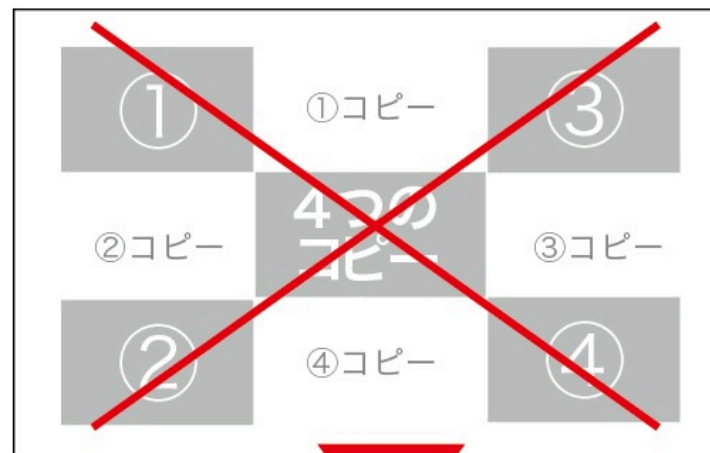
見やすくするための一つ目のコツは、整理整頓です。タイトルや文章・画像などが揃っていないとそれだけで違和感を感じる人も中にはいます。それを解消するためにはまず揃える。ここで重要なポイントは最初はまず左揃えにしましょう。中心揃えや右揃えなどもデザインによってはありますが、これはバランスが難しく上級者向けなので基本は左揃えをオススメします。



レイアウトの基本『3ヶ条』

その2. グループ化(まとめる)

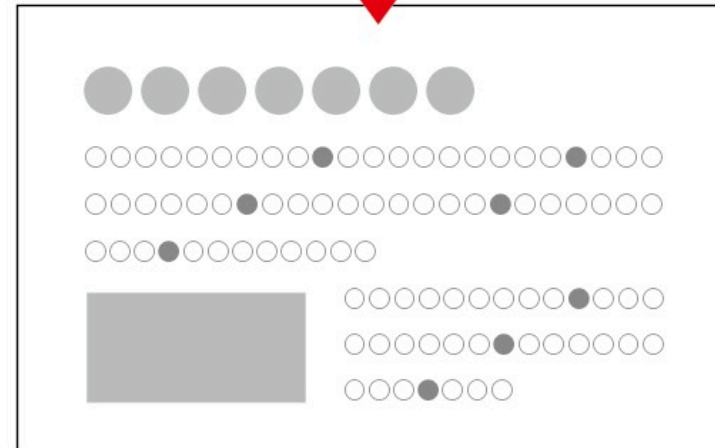
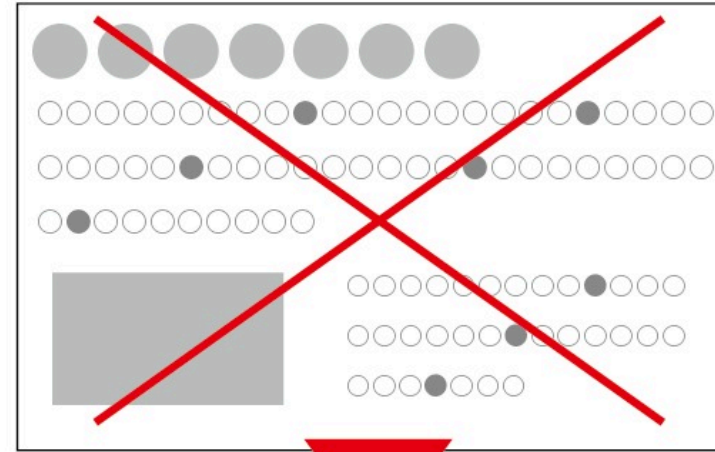
グループ化(グルーピング)はレイアウトにおける情報整理の手法です。単調にレイアウトされ、直感的に理解しにくい場合でも、内容に即してグループ化を行なうことで、全体の構成がパッと見わかりやすくなります。また、関連性の低いものは少し離して配置する(上下でスペースを取る)ことで、グループ化が強調されます。



レイアウトの基本『3ヶ条』

その3. 余白をとる

文字の周りや全体にスペースが無いととても窮屈で、非常に読みにくいレイアウトになります。文字サイズもむやみに文字を大きくするのではなく、ゆとりをもって配置するようにしましょう。ココでポイントなのが、右の図のように左右上下同等のスペースの余白を取るようにしましょう。また、タイトルと本文の間にもスペースを空けるとより見栄えも美しく見えます。



まとめ

レイアウトとはある情報を効率的かつ見やすくし、媒体を見た人が求めている情報をいかにスムーズに得られるかどうか、とても重要になります。そのためには目標からレイアウトを逆算し、制作することが大切になってきます。最初からそこまでできる人は少ないと思いますので、まずは視線誘導を意識しつつ、『レイアウトの3か条』を守れば自ずとレイアウトが上手になりますので、徐々に慣れて行きましょう。

